

2020年10月20日

初等外国語教育法（火3）（12時50分～14:20）

講義資料

第2章 関連分野からみる外国語教育の意義と方向性

1節 母語習得と第二言語習得

1. 母語習得研究

母語はどのように学ばれるのかという研究が「母語習得研究」です。母語習得のプロセスの研究が第二言語習得研究や外国語教育にも大きな影響を与えています。

①行動主義的アプローチ

☞母語習得と第二言語習得のプロセスは同じだろうか？

☞母語はどのように習得されてきたのか？

☞刺激→反応→強化で母語は習得されたのなら、そのように第二言語（外国語）も学ぶべき？

行動主義理論の立場からみた言語習得過程

習慣形成理論：子どもは大人の発話をまねて言語を習得していく。



行動主義理論の教授法への影響

外国語の習得は母国語のそれと同様に習慣形成による。

両者の相違点は、外国語は母語習得の後に習得される。

母語の言語習慣が外国語習得のあらゆる面で影響する。

したがって、外国語を習得するということは、新しい習慣を身につけさせるということである。

その理論は、繰り返し「会話文」と「文型練習」をすることによって第二言語を学習するというオーディオ・リンガル・メソッドに応用された。

母国語と目標言語の異同を解明して学習上の難易を予測し、それに基づいた教材編成が求められ、対照分析が盛んになった。

句型練習

I like

apples

oranges.

dogs.

cats.

desks.

pens.

- 機械的な練習は習得につながらなかった。
- 言語習得は単なる記憶や模倣ではない。
- 言語習得は創造(想像)的なものである



play → played
live → lived
study → studied
go → goed

②生得主義的アプローチ 人間の脳には生まれながらに言語を獲得できる装置がある。それがLAD. 第二言語も同じプロセスで学んだほうがよいのか？

☞「母語の干渉」 これはいったい何？

言語生得論(チョムスキー)

子どもは大人の発話を模倣しているのではない。

しかも、大人の発話は質的に高いものにはなっていない。

子どもは、母語のいかに問わず、IQの高低にも関係なく、ほぼ同じスピードと順次性を保って、母語の能力を習得していく。これは、成人の発話の模倣や反復ではあり得ない。

言語生得論

子どもは生まれながらに言語習得装置(LAD)を持っており、外界の言語情報に触れると自然にその装置が作動し、短期間で完璧な言語を習得する。

チョムスキーらの言語生得論

インプットの重要性を指摘



③相互交渉主義的アプローチ

- ☞言語環境において周囲の大人たちとの交流を通して母語を習得していく？
- ☞テレビだけを見て子供は言語を学ぶか？聞いただけで学べるか？
- ☞modified input, caretaker speech, foreigner talk, teacher talk これはみんな同じ意味？

④用法基盤モデル

⑤その他の幼児の言語習得の特徴

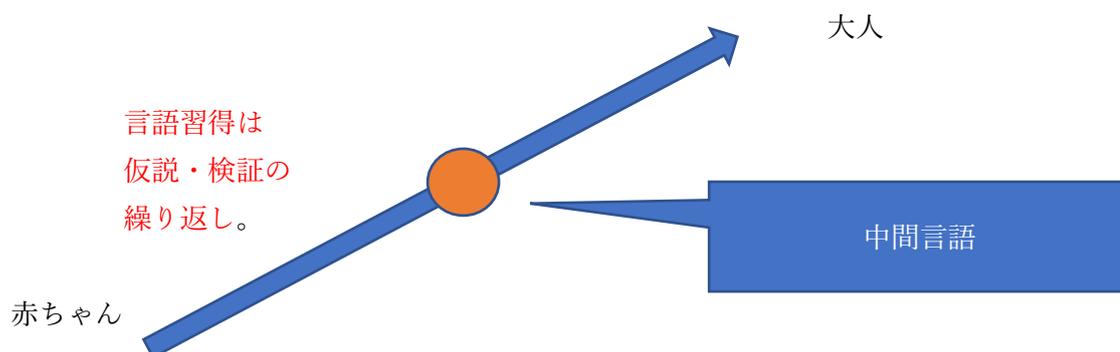
- 1) 具体的な場面で学ぶ Here and now の原則
- 2) 文法項目を学ぶには順序がある？
- 3) 中間言語とは何か？過剰一般化とは何か

なぜ幼児は I swimm~~e~~d. というのか？ 大人の言語をまねて子供は言語を学んでいくと仮定すると、大人は決して I swimm~~e~~d. とは言っていない。つまり、子どもは大人の言語のいつも真似をしているとうことではないのではないか？

日本の中学生も I swimm~~e~~d. という場合がある。なぜこんな間違いをするのだろうか？

➡ 中間言語システム

☞ I goed to the park. という発話はなぜ出てくるのか？



2. 第二言語習得研究

① インプット仮説





☞英語のラジオを聞き流しているだけで英語は習得できるのか？

→FEN のラジオを聴いているだけで英語が習得できるか？

☞字幕付き（もしくは字幕なしの）外国語の映画を見ることを通して外国語の習得は可能か？

→私は韓国ドラマにはまった時期がある。字幕付きのドラマ。韓国語は相当量聞いた。でもマスターすることはできなかった。なぜか？

☞小学校の外国語で指導者として担任が求められているのはなぜか？

→児童生徒の現在の能力を的確に把握して、「話の内容はおおむねわかるけれど、新しい語彙や文法が少し入っているインプットを学習者に提供すること。

→いきなり話せと言われても無理。蓄える時間が必要。小学校ではたっぷり聞かせたい。

②アウトプット仮説

☞なぜ発話を促す必要があるのか？

☞なぜ発表活動をさせるのか？

☞小学校で Small Talk が導入された意味はどこにあるのか？ →「外国語活動・外国語研修ガイドブック」

→言語知識の自動化

→弱点の気付きと文法の意識化 自分の穴に気付く

→理解できていないとすれば自分の発話のどこが問題なのか？

③インタラクシオン仮説

☞新しい学習指導要領では「やり取り」が新たな領域として加わりました。

聞く、話す[発表]、話す[やり取り]、読む、書く 4領域から5領域へと変わりました。

話す[やり取り]が、話す[発表]と区別されたのはどうしてでしょうか？言語習得にとって「やり取り」はどんな意味や意義があるのでしょうか？

➡意味交渉/仮説検証：相手は理解できているだろうか？理解できないときは相手にそれを示そう。

☞なぜペア活動を行う必要があるのか？

☞幼児は母親だけから母語を学ぶのでしょうか？幼児どうしても言葉を学んでいくのでしょうか？

➡インタラクシオンによって言語の発達を大きく促すことが可能となる。

➡予想（仮説）は検証されるか。自分の言っている言葉が通じた（仮説の検証）

④社会文化理論

⑤その他の第二言語習得の特徴

1) インプット➡インテイク➡アウトプット

2) 意味中心の授業から文法へフォーカスする。文法から意味へ行くのではない。

3) 語彙などの覚えかた

4) チャンクから分析的な学習へ

☞How are you? という言葉に小学生はほぼ全員が反応することができる。

彼らの頭の中で、この表現はHow/are/youの三つの単語からできていることに気付いているのはどのぐらいいるのだろうか？

☞Thank you. とは言っても、これがThankとyouの二つの語からできていることを彼らは知っているだろうか？

Global error と Local error

2 神経言語学と臨界期説

1. 脳の働き

☞右脳と左脳の働き

2. 臨界期仮説

☞アマラとカマラの話を知っていますか？ ジャングルの中で狼に育てられた幼児たちです。その後、彼らは言語を学ぶことができたでしょうか？

☞アメリカには13才ごろまで隔離して育てられたジニーの例があります。隔離されて育っ

たジニーはその後言語を学ぶことができたでしょうか？

☞みなさんの日本語は、「訛り」がありますか？ この「訛り」は、いつごろまで、その土地に住んだ場合に起こるのでしょうか？ 例えば 12~13 歳ごろまでに関西で育った人が、その後東京へ移住した場合、その人は関西弁から東京弁になるのでしょうか？それとも関西弁のままでしょうか？あるいは東京弁になるのでしょうか？移住した時期（年齢）は重要でしょうか？

言語臨界期仮説

Lenneberg: 1967

言語が容易に習得される時期は、ヒトの一生の中でも限られており、その期間は生後2才頃から思春期までであり、この期間中は、子どもは**目標言語に十分接することで、母語、外国語を問わず、無理なく習得できる**。言語習得に適したこの時期を臨界期(critical period)と呼ぶ。

野生児カマラとアマラのケース

1920年、インドのジャングルの狼の穴の中から2人の少女が発見された。カマラ（約8歳）とアマラ（約1歳半）である。



カマラの言語発達

17歳で死亡するまでに覚えた単語は約50語程度であった。



ジニーのケース

2～3歳ごろから監禁状態で育てられる。

外部との言語的な接触は一切なかった。

1970年13歳で発見される。

文法構造や表現、言語理解や言語表現などにおいて成人なみになることはなかった。



☞ BICS とは何？ CALP とは何？

3 節 発達心理学と学習者要因

1. 発達心理学

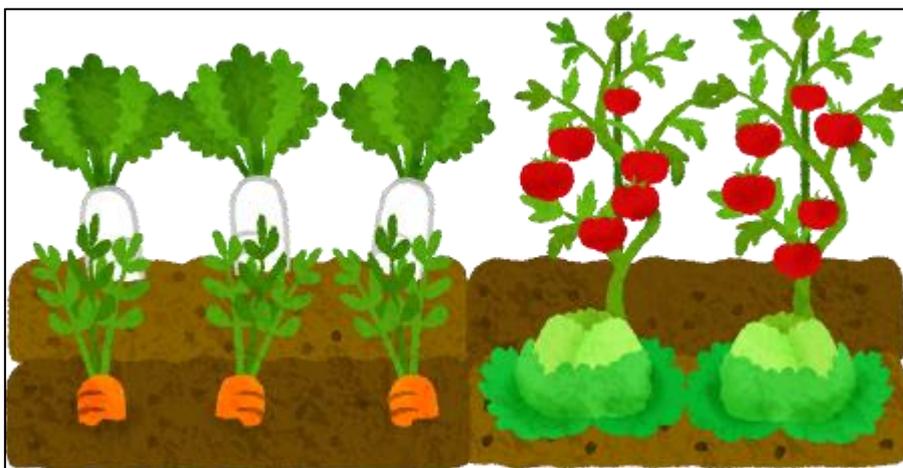
☞ こどもはどのように物事を認識するのでしょうか？

☞ こどもの発達に合わせた指導法を考える必要がありますね。中学生に教えるように、小学生に教えるはいけないということです。

☞ では、どのように教えると良いのでしょうか？

2. 学習者要因

☞ 植物は同じような環境で同じような水や肥料を与えられると、同じように成長します。人間は同じクラスで同じ指導法で学んでも同じように理解していくとは限りません。それはなぜでしょうか？



音を捉えて記憶する能力

文法規則を見つけ出す力

パターンを発見する力

暗記力などの言語適性

視野に影響され弁別に時間がかかる場独立依存型とそうでない場独立型といった認知スタイル

学習不安

学習方略

動機づけ



4 節 コミュニケーション能力

☞文法能力，談話能力，社会言語学的能力，方略的能力とは何か？

5 節 国際教育，国際理解教育，および異文化間コミュニケーション

☞日本の国際理解教育はどのように教えられているのでしょうか？学習指導要領では，どのように国際理解教育を扱っているのでしょうか？